JPIC NEWSLETTER

通巻 260 号　　2024 年 11 月 15 日

BOOK MEETS NEXT 2024 オープニングイベントを開催

10月24日（木）に紀伊國屋ホール（新宿区）にて、 BOOK MEETS NEXT 2024のオープニングイベントを開催。開演に先立って高井昌史運営委員長より挨拶をいただきました。

第一部では、「地球さんご賞」に入賞した大田区の小学生、高校生が受賞作品の朗読をし、実行委員長の安部龍太郎さんより講評をいただきました。

つづく第二部では、『絵本　うたうからだのふしぎ』の著者である言語学者の川原繁人さんと、ゴスペラーズの北山陽一さんが対談をおこない、アカペラグループといっしょに歌も披露。会場内では親子で楽しむ姿も見られ、大いに盛り上がりました。

登壇者の皆さん

第31期JPIC読書アドバイザー養成講座第2回を実施

10月26日と27日、第31期JPIC読書アドバイザー養成講座第2回をおこないました。当初8月31日と9月1日に予定されていた第1回が、台風の影響により収録動画の配信視聴へ切り替えとなったため、今回が初めてのスクーリングとなります。当日講義はもとより、グループディスカッションにもいきいきと取り組む受講生の姿が見られました。

グループディスカッション中の受講生

当講座は、読書を通じた生涯学習の一環として読書活動を推進する人材の育成を目的に、1993年3月よりスタート。今期は、さまざまな地域、職業・年齢層の103名（応募者166名）に更に学びなおしたいという年間聴講生4名をくわえ新たな受講生としました。

スクーリングはすべて出版クラブホール（千代田区）にて開催。全4回8日間のスクーリングの出席およびレポート提出を経て、3月の修了をめざします。

本だなプロジェクト ただいま実施中

今年度で3回目を迎える本だなプロジェクト。6月に施設と本を提供いただく出版社を募集し、現在、全国30施設に書店を通して本を届けている段階です。施設からは「子どもたちが夢中になって読んでいます」と、喜びの声も寄せられ始めました。

出版社からは提供いただく本の代金をいったんJPICに納めていただき、書店が本を揃え、代金はJPICから支払う、というやや複雑な方式の本事業ですが、関わっていただいた書店には大好評。施設で本と触れた子どもたちが、将来、地元の書店を利用してくれることを、願ってやみません。

本だなプロジェクト協賛出版社（五十音順）

株式会社Gakken	株式会社NHK出版
株式会社金の星社	株式会社静山社
株式会社世界文化社	株式会社童心社
株式会社白泉社	株式会社福音館書店
株式会社フレーベル館	株式会社ポプラ社
株式会社ほるぷ出版	株式会社理論社

特別協賛企業　大日本印刷株式会社

出版社提供の本を手にとる子どもたち

書店大商談会が5年ぶりに
従来の商談形式で開催

コロナ禍の影響により午前・午後二部制という新たな試みや研修の部と懇親の部の二部制など形式を変えて継続してきた「書店大商談会」。第十三回は従来通りのブースを出展できる会場（科学技術館・新宿区）を確保し、10月30日（火）に完全復活しました。

当事業はBOOK MEETS NEXT連携事業として開催。当日夜には、会場内にある400名収容のホールにて声優とコラボレーションしたイベント「『本』と『声』2024」も開催し、書店の来場促進にもつなげました。

来場者は書店290名、出版社731名、販売会社も含めると総勢1,116名となり、来場者と出展者の商談はもとより、出展者同士でも情報交換などが盛んにおこなわれていました。

活発に情報交換がおこなわれた

BOOK EXPO 2024 盛況裏に終える

「BOOK EXPO 2024 秋の陣～よし、乗り越えろ！書店人～」は11月12日（火）にコングレコンベンションセンター（大阪市）で開催。「西日本POP王決定戦」では「手書きPOP部門」でふたば書房アルプラザ野洲店が、「ディスプレイ部門」は西日本書店がそれぞれ金賞受賞となりました。ご当地本大賞のコーナーなど、商談以外にも充実したコンテンツをさまざまに展開しました。

来場者は書店、出展社などを含め、前年を超える約1,200名が参加。商談や情報交換など、にぎやかな一日となりました。

大垣全央実行委員長の掛け声とともに開幕

第5回東京版権説明会に79社が出展
海外からはのべ320名が参加
日本の出版コンテンツの輸出を促進

海外と日本の出版関係者が書籍の版権交渉をおこなう東京版権説明会が、11月6日（水）・7日（木）の2日間にわたりTKP市ヶ谷カンファレンスセンター（新宿区）にて開催されました。

本イベントは、コロナ禍による3年間の休止を経て昨年再開、今年で5年目を迎えます。JPICは昨年より事務局として運営に加わり、国内外での開催告知や参加の呼びかけに努めてきました。

そして今回、出展社数は昨年から15社増の全79社。うち3社はイギリス、スペイン、台湾の出版社でした。

また、海外からは韓国（28社）、中国（22社）、台湾（20社）等の参加国に加え、アメリカ（1社）、フランス（1社）、ロシア（3社）など初参加の国も増え、全11カ国92社からのべ320名が来場。国際的な広がりと参加人数の増加が見られました。

各出展ブースでは、児童書からフィクション、ノンフィクションまで幅広いジャンルの書籍がそろい、実際に本を手にとりながら、活気にみちた商談がおこなわれました。

日本の出版コンテンツへ注目が高まる中、新しいビジネスを創造する場として、また、出版業界の国際交流を深める場として、次年度もより一層充実した会の開催をめざします。

海外から多くの方が来場

NEWSについてのお問合せや詳細資料をご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。
JPIC HPアドレス：https://www.jpic.or.jp
賛助会員様のイベント情報を発信します！